



しらおい

# 白老町環境町民会議 活動状況報告（1）

2020



2020年、白老ポロ湖畔に  
国立アイヌ民族博物館  
国立民族共生公園、誕生。



アイヌ文化の継承と発展



## しらおい 白老町の概要

白老町は、北海道の南西部、胆振振興局管内のほぼ中央に位置しており、人口約17,000人の海、川、山、森と様々な自然にあふれたのどかな街です。工業、農畜産業、観光などさまざまな産業を有しており、恵まれた自然に育まれた白老牛や虎杖浜たらこ、たまご、しいたけなど多くの特産品があります。

【アイヌ文化の振興等を促進するための民族共生象徴空間の整備】  
「民族共生象徴空間」は、アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとして、アイヌの歴史、文化等に関する国民各層の幅広い理解の促進の拠点並びに将来へ向けてアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展につなげるための拠点となるよう、2020年（平成32年）の一般公開に向けて、整備を進めています。



しらおい

## 白老町環境町民会議の概要

白老町環境町民会議は、白老町の環境保全と創造を目的に平成20年7月に発足しました。当会議は発足以降、胆振海岸において毎年5月から12月に清掃活動や環境教育、地元小学校が実施する海岸清掃への協力を継続的に取り組んでおります。

平成29年3月に北海道で初となる海岸協力団体にも指定されました。また、平成30年6月には、北海道では5年ぶりとなる海岸功労者表彰を受賞しました。

白老町環境町民会議の会員は、環境保全・創造などの活動を実践または今後取り組もうとしている町民、町民団体または事業者等から構成されたおり、現時点の会員は、13団体、16個人、3企業となっております。



海岸功労者表彰 (H30.6.25)



表彰状を受け取る中野善生  
会費は多額の表彰状を頂

環境町民会議全国表彰  
海岸美化、活動10年

いぶり





しらおい

# 白老町環境町民会議 活動状況報告（2）

2020 2020年、白老ポロト湖畔に  
 国立アイヌ民族博物館  
 国立民族共生公園、誕生。

## ①ヨコスト海岸クリーンアップ（H30年度は荒天のため中止） ※写真はH29年度の状況

白老町内の海岸（ヨコスト海岸）で毎年清掃活動を実施しています。昨年度は、地元高校生、企業、町職員など約80名が参加し、可燃70kg、不燃30kgのごみを回収しました。



たるまえ 樽前山

## ②しらおい夏の海塾（環境教育）

夏休み期間中に白老町内の小学生を対象に、海を教材として「水環境」について学習する環境教室を開催しました。当日は、小学生8名が参加しました。



地元紙に記事が掲載

白老 生き物と触れ合う 「夏の海塾」開く

環境町民会議

催し。今回は小学生6人が参加した。最初に、室蘭開発建設部によるしらおい海岸のお話を聞いた後、海塾の講師から、海の生き物について話を聞いた。その後、水槽に入れた生き物に触れ、観察した。最初は、生き物の名前を聞き、その後、生き物の特徴や生活環境について話を聞いた。最後に、生き物の名前を聞き、その後、生き物の特徴や生活環境について話を聞いた。

## ③海岸パトロール

海岸の環境を考える取組みとして、昨年12月から、毎月1回、海岸パトロールを行っております。



## ④機関誌・HPの活用

当会議では、活動状況を地域に紹介するため、機関誌「かんきょう」の年4回発行と、HPへの掲載を行っております。

白老町環境町民会議 新会長 星 貴

2020年「かんきょう」発行

2020年「かんきょう」発行

2020年「かんきょう」発行

<http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/chorengo/kankyou.html>